

海外事務所だより

シンガポール事務所

成長するJETAAシンガポール支部

(一財)自治体国際化協会シンガポール事務所 所長補佐 鈴木 友美 (東京都江東区派遣)

クレアでは、各海外事務所を通じてJETプログラム参加経験者の組織であるJETAA (JETプログラム同窓会: The JET Alumni Association) 各支部の活動を支援しています。

JETAAの設立は1989年で、すでに25年の歴史がありますが、JETAAシンガポール支部は今年ようやく5周年を迎えたばかりの若い組織です。同様に、私たちシンガポール事務所も支援体制を整えてきました。

本稿では、JETAAシンガポール支部の活動とシンガポール事務所の支援についてご紹介します。

JETAAシンガポール支部の誕生

シンガポールが初めてJETプログラムに登場したのは1999年、宮崎県CIRとして招致されたたった1人の参加者でした。翌年からはアジアの英語圏としてALTを中心に毎年20人前後を送り出しています。

JETAAシンガポール支部の誕生は10年後の2009年で、2002年から2008年にJETプログラムに参加したメンバーが中心となって活動を開始しました。

設立にあたっては、シンガポールにおいて団体設立の義務とされている届出事項の調整および手続きを、在シンガポール日本大使館とクレアシンガポール事務所が協力して支援しました。

JETAAの活動

設立当初は、大使館が主催する新規JET参加者のためのオリエンテーションや日本人小学校での夏祭りへのブース出展など活動の範囲は限られたものでしたが、会員数が増えていくなかで主体的な活動のアイデアも広がってきました。お花見や和太鼓教室など日本文化を紹介するイベントを通して、JETプログラムの魅力を伝えています。

(1) JET参加者来日前オリエンテーション

大使館の要請によりJETAAメンバーの代表が大使館担当者と共に講師を務めています。日本行きを控えた新規JET参加者たちが抱えるさまざまな不安を受け止め、日本で生活や仕事をするうえでの基本的なルールから、ALT・CIRそれぞれの業務に役立てるため事前に準備しておいた方がよいものなど、自らの経験に基づいたアドバイスをしています。医療や納税など日本の制度に関する質問には、同席しているクレアスタッフに確認しながら丁寧に答えています。

(2) 日本人学校夏まつり

シンガポール日本人学校で毎年開催されている「夏まつり」に、大使館の支援を受けてブース出展しています。このまつりには、日本人だけでなく地域のシンガポール人も多く訪れていて、JETAAのブースで日本の遊びやゲームを体験し

楽しんでるようです。当事務所も協力を行っています。



JETAAブースに浴衣で訪れたシンガポールの若者たち

(3) 日本語教室

帰国後は日本語を使う機会が少なくなるため、JETAA活動の充実を目的として日本語スキルの維持と向上のために大使館の支援により2012年4月、JETAAの日本語教室が開講されました。この日本語教室では、シンガポールと日本間の交流事業を行っているJCS（シンガポール日本文化協会：The Japanese Cultural Society, Singapore）の協力を得て、JCSが運営する日本語学校の先生に講師を務めていただいています。

日本の習慣や流行を題材にして進められるので、ときには当事務所も授業に参加して話題を提供しています。

(4) NATASでの観光プロモーション

シンガポールでは毎年2回、2月と8月に国内最大の国際旅行フェア（NATAS：National Association of Travel Agent Singapore）が開催



ブースの前で一緒に説明するクレア職員とJETAAメンバー

されています。日本各地の自治体が出展して地元のPRを行っています。出展自治体の希望に応じてJETAAメンバーがブースのお手伝いをしています。シンガポール人である彼らの言葉は来場者の共感を得やすいので、大きな効果があります。出展後もJETAAメンバーと交流を続けている自治体もあり、NATASの時期になると直接連絡を取り依頼しているようです。この活動には、クレアのJETAA活動助成金が充てられています。

活動の広がり

設立から5年が経ち、JETAAシンガポール支部はイベントでの交流を中心とした活動から、公の場でJET参加者としての体験を語るJETプログラムの広報活動へと一歩足を踏み出しました。

今年3月、当事務所では大使館と連携して、昨年（2013年）夏に帰国した元JET参加者たちの歓迎レセプションを兼ねたJETAAとの意見交換会を行いました。シンガポール日本人会、商工会議所、JCS、JUGAS（Japanese University Graduates Association of Singapore）など、日系、地元系双方の関連団体からもご出席をいただき、JETAAによる体験談のスピーチや意見交換を通してJETプログラムについて知っていただく良い機会になったと思います。



竹内大使と意見を交わすJETAAメンバー

JETプログラムでの経験が帰国後どのように生かされているのか、それを伝える機会を今後増やしていきたいと考えています。

さらに、現在活動の中心を担っているメンバーたちは、新たな発想によって活動の充実を図り、

団体として成長しようとしています。

彼らは、新規JET参加者が日本に向かう前からJETAAとの交流を深めることが、帰国後、JETAA活動への積極的な参加につながると考えて大使館とJCSに協力を求め、これまでJETAAを対象に実施されていた日本語教室に今年5月から新規JET参加者が加わることになりました。日本語教室以外でも、交流会を企画して情報交換の機会をもち、先輩や同期の仲間たちと気軽に相談し合える環境を作るなど、JETAA活動の基盤強化に取り組んでいます。



日本語教室に初めて参加した今期来日の新規JET参加者

JETAAの将来像

JETAAシンガポール支部は、ほかの支部と比較すればまだ小さく活動実績も到底及びませんが、日本とJETプログラムを大切に思う気持ちは負けていません。

発足時は30人ほどだった会員数は今年100人に達する見込みです。規模が大きくなるにつれて結束力や機動力などに課題が生まれますが、執行部のリーダーシップで克服できると考えています。

JETAAとして本格的に活動を展開し継続していくには、しっかりとした組織編成と事業計画、そして達成感が必要です。また、広報や選考活動、JETプログラム修了者の就職支援など、クレアがJETAAに期待する効果を生み出すためには、彼らが活躍できる機会を増やしていくことも大切です。

彼らが自ら基盤強化に向けて取り組みを始めた今、私たちシンガポール事務所も活動支援を充実

させ、彼らの活動範囲を広げる努力をしていかなければなりません。まだ成長過程にある彼らの将来像を共に描き、歩みを進めていきます。

シンガポールは国際会議開催地として世界一を誇る都市です。将来、シンガポールでJETAA国際会議が開かれ、事務局として活躍する彼らの姿を見ることができるかもしれません。

出合いを大切に

最後に、新規JET参加者を日本に送り出す歓送レセプションについて触れたいと思います。

レセプションは大使館主催で開催され、JETAAと共にシンガポール事務所職員も招待されます。JET参加者の中には任用先が同じJETAAメンバーや任用先自治体から派遣されたクレア職員に出会う人もいます。私たちは共に情報提供だけでなく歓迎の気持ちが伝わる交流の場になるよう心がけています。

JETAA活動への関心もここからスタートです。帰国後は自分もこの場において後輩たちに自分の経験を伝えたい、そう感じてくれることを願っています。



配置される地域についてクレア職員に尋ねる参加者